

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		4-	2
事業名	税務経費	会計	款	項	目
		一般	2	2	1
施策	6 語らいのあるまち	課名	税務課		
	6-4 行財政運営の充実したまちをつくる	係名	課税係		
	6-4-2 効率的行財政の運営				
主要施策	④自主財源の確保				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民、納税義務者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	改正された税情報等を町ホームページや広報誌等で案内し、住民や納税義務者に対し公正・公平な納付を呼びかけ納税の啓発を行うことで町の財源を確保する。
事業内容	法改正された税情報等を町ホームページや広報誌等で案内し、住民や納税義務者に対し公正・公平な納付を呼びかけ、国税・地方税の納税啓発、税情報の提供充実に努める。また、租税の意義や役割を正しく理解してもらうため、租税教育として町内全小学校6校の6年生を対象とした租税教室を税務関係機関と共同で開催する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
	1	ホームページへの掲載情報	14	16	20	件	→	10
2								
3								
4								
5								
		平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B				8,777	5,479	11,841		
財源内訳	直接事業費 A				8,777	5,479	6,261	
	うち一般財源				8,777	5,479	6,261	
人件費(千円) B				0	0	5,580		
内訳	一般職員(人・千円)				0	0.31	0.84	5,544
	臨時職員(人・千円)				0	0	0.02	36

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	効果や周知の浸透度合を踏まえ、先進的取組みを参考に、内容等を工夫する必要がある。
②H30年度に実施した取り組み	ホームページや広報を通じて税情報を案内した。また、小学6年生を対象に租税教室を開催した。	④今後の改善計画	国税・県税等の関係機関との連携・協力のもと、周知・広報活動を継続的に実施する。